# 第 20 講 【現代編】冷戦の成立とその対立
# PART3 東西の安全保障と冷戦の推移

## Chapter 1　東西軍事同盟の成立とアメリカの覇権

目標
アメリカは社会主義陣営に対して，どのような同盟を組んだのかを学ぼう。
社会主義陣営に対する，アメリカ大統領の対応について学ぼう。

### 1　東西の軍事同盟の形成

①西側

1948 年　アメリカとラテンアメリカ諸国が〔　　　　　　　　　〕（OAS）を発足

1949 年　西側諸国が〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（NATO）を結成

1951 年　アメリカがオーストラリア・ニュージーランドと
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（ANZUS）を締結

1951 年　アメリカが日本と**日米安全保障条約**を締結

1951 年　アメリカがフィリピンと**米比相互防衛条約**を締結

1953 年　朝鮮戦争の休戦協定が成立。アメリカが韓国と**米韓相互防衛条約**を締結

1954 年　アメリカが台湾（中華民国）と**米華相互防衛条約**を締結
→西太平洋における西側陣営の安全保障体制の形成

1954 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（SEATO）を発足
※アメリカ・イギリス・フランス・オーストラリア・ニュージーランド・タイ・フィリピン・パキスタンの 8 か国が加盟。

1955 年　トルコ・イラク・イラン・パキスタン・イギリスの 5 か国が
〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（中東条約機構〈METO〉）を発足
※ 1959 年，革命で王政から共和政に移行したイラクが脱退すると，中央条約機構（CENTO）に改称。
→アメリカ・イギリスを中心に反共包囲網を形成

②東側

1950 年　ソ連が中国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結
※日本およびアメリカを仮想敵国として結ばれた軍事同盟。

1955 年　ソ連が東欧 7 か国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（東ヨーロッパ相互援助条約）を発足，NATO に対抗

## 2　アメリカの覇権と反共政策

1947 年　〔　　　　　　　　　〕大統領が共産主義に対抗するため，ギリシア・トルコに経済援助を約束する**トルーマン = ドクトリン**を発表

※ソ連勢力への**「封じ込め政策」**のはじまり。

1947 年　国務長官マーシャルがヨーロッパ復興のため**マーシャル = プラン**を発表

1947 年　諜報機関の中央情報局（CIA）を創設，国内の共産主義者などへの監視を強化

1950 年代前半　共産主義者を社会的に排除する「〔　　　　　　〕」が盛んになる

※共和党のマッカーシー上院議員が中心，**マッカーシズム**と呼ばれる。

1953 年　共和党の〔　　　　　　　　　　　　〕が大統領に就任

※ソ連の勢力圏に対し積極的に対抗する**「巻き返し政策」**を唱える。

トルーマン

アイゼンハワー

## 3　核保有国の増加

①原子爆弾（原爆）の動き

1945 年　アメリカが世界で初めて原爆実験を実施

1945 年　アメリカが広島と長崎に原爆を投下

1949 年　ソ連が初めて原爆実験を実施

→以降，各国で原爆実験が実施される。

イギリス（1952 年），フランス（1960 年），中国（1964 年），

インド（1974 年），パキスタン（1998 年），北朝鮮（2006 年）

②水素爆弾（水爆）の動き

1952 年　アメリカが原爆よりも破壊力のある水爆実験を実施

1953 年　ソ連が水爆を保有

1957 年　イギリスが最初の水爆実験

まとめ

アメリカ大陸に米州機構，西欧には NATO，その他環太平洋地域にも個別に軍事同盟を組み，東側諸国を囲い込んだ。

トルーマンは「封じ込め政策」で社会主義勢力に対抗し，アイゼンハワーは当初「巻き返し政策」で，反ソ反共の姿勢を見せた。

# Chapter 2　西欧，日本の復興とソ連の「雪どけ」

目標
日本や西ドイツが主権を回復したきっかけを学ぼう。
冷戦が「雪どけ」の状況になった背景をおさえよう。

## 1　西欧の復興と各国の状況

①西ドイツ

1949 年　ドイツ連邦共和国（西ドイツ）が成立

※初代首相〔　　　　　　　　　　　〕政権のもと，「**経済の奇跡**」と呼ばれる経済復興を実現。

1954 年　〔　　　　　　　　〕で**主権を回復**，翌年 NATO に加盟

②イギリス

1945 年　総選挙で**労働党**が圧勝，〔　　　　　　　　〕労働党内閣が成立

※「**ゆりかごから墓場まで**」をスローガンに福祉政策の充実，重要産業の国有化に努める。

1949 年　**エール**（アイルランド）がイギリス連邦から完全離脱

1956 年　イーデン保守党政権が，**スエズ出兵**に失敗

③フランス

1946 年　新憲法が成立して〔　　　　　　　　　　〕が発足

1946 年　ベトナム民主共和国と交戦（**インドシナ戦争**）

1954 年　フランスからの独立を求めて**アルジェリア戦争**がおこる

④イタリア

1946 年　国民投票で王政が廃止され**共和政**になる。共産党が躍進

## 2　日本の主権回復

1950 年　朝鮮戦争がはじまると，国連軍への物資供給（**朝鮮特需**）などによって経済復興

1950 年　アメリカの要請で**警察予備隊**（のちの**自衛隊**）を設置

1951 年　米・英など 48 か国と〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を締結し，**主権を回復**

※日本は，朝鮮・台湾・南樺太・千島を正式に放棄，奄美群島，小笠原諸島，沖縄諸島がアメリカの施政下に置かれる。

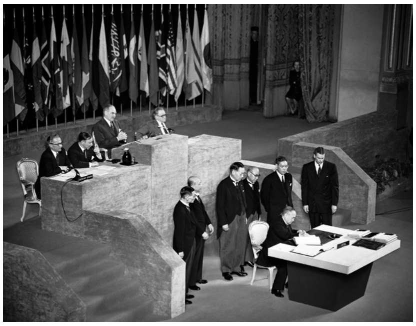
1951 年　同時に〔　　　　　　　　　　　　　　　〕に調印

※アメリカ軍の駐留と基地の存続を承認。

1955 年　保守政党の合同により自由民主党が成立

1956 年　〔　　　　　　　　　　　〕でソ連と国交を回復

1956 年　国際連合へ加盟，国際社会に復帰



サンフランシスコ講和会議

## 3　ソ連の平和共存路線と「雪どけ」

1953 年　**スターリン**が死去

1955 年　ユーゴスラヴィアと和解

1955 年　米・英・仏・ソ４か国首脳が〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を開催

1955 年　西ドイツと国交回復

→米ソ両国間の冷戦が緩和，「〔　　　　　　〕」と呼ばれる。東欧諸国は動揺

1956 年　ソ連共産党第 20 回大会で〔　　　　　　　　　　　〕第一書記が演説で「〔　　　　　　　　　　　　〕」，西側諸国との〔　　　　　　　〕政策を明確にする

1956 年　平和共存政策の一環として，**コミンフォルム**（共産党情報局）を解散

フルシチョフの「スターリン批判」

まとめ

日本はサンフランシスコ平和条約で，西ドイツはパリ協定で主権が回復した。

スターリンが死去したのちフルシチョフが平和共存政策を進め，「スターリン批判」などで冷戦構造が緩和された。

# 第 20 講　PART 3　確認問題

**1**　1954 年にアメリカがイギリス，オーストラリア，フィリピンなど 7 か国と結成した組織はどれか。

①　米州機構　②　東南アジア条約機構
③　バグダード条約機構　④　ワルシャワ条約機構

**2**　1955 年に NATO に対抗して，ソ連が東欧 7 か国と結成した組織はどれか。

①　バグダード条約機構　②　東南アジア条約機構
③　ワルシャワ条約機構　④　米州機構

**3**　1953 年にアメリカ大統領に就任し，「巻き返し政策」を唱えた人物はだれか。

①　アイゼンハワー　②　トルーマン
③　ローズヴェルト　④　マーシャル

**4**　1949 年に初めて原爆実験を行い，アメリカに次いで世界で 2 番目の核保有国となった国はどこか。

①　インド　②　イギリス
③　フランス　④　ソ連

**5** 1954 年に締結され，西ドイツの主権回復が承認された協定はどれか。

① パリ協定　② ミズーリ協定
③ サイクス・ピコ協定　④ ジュネーヴ休戦協定

**6** 1945 年にイギリスの首相となり，「ゆりかごから墓場まで」をスローガンに福祉政策の充実に努めた人物はだれか。

① イーデン　② アトリー
③ チャーチル　④ アデナウアー

**7** 日本が主権を回復した，1951 年に締結された条約はどれか。

① ロンドン条約　② 日米安全保障条約
③ ヴェルサイユ条約　④ サンフランシスコ平和条約

**8** スターリンの死後，ソ連共産党第 20 回大会でスターリン批判を行った人物はだれか。

① マレンコフ　② ブルガーニン
③ フルシチョフ　④ ティトー

# 第 20 講　PART 3　確認問題 解答

**1** 解答：②　アメリカは，イギリス，フランス，オーストラリア，ニュージーランド，タイ，フィリピン，パキスタンとともに**東南アジア条約機構**（SEATO）を結成した。

**2** 解答：③　ソ連は NATO に対抗する軍事同盟としてポーランド，東ドイツ，チェコスロヴァキア，ハンガリー，ルーマニア，ブルガリア，アルバニアと**ワルシャワ条約機構**を結成した。

**3** 解答：①　**アイゼンハワー**は，ソ連の勢力圏に対して積極的に対抗する「巻き返し政策」を唱えた。

**4** 解答：④　**ソ連**は 1949 年に世界で 2 番目に原爆実験を実施した。

**5** 解答：①　西ドイツは，1954 年の**パリ協定**で主権を回復した。

**6** 解答：②　1945 年の総選挙で労働党が勝利して首相になった**アトリー**は，福祉政策の充実に努め，重要産業の国有化を図った。

**7** 解答：④　日本は 1951 年にアメリカやイギリスなど 48 か国と結んだ**サンフランシスコ平和条約**で，主権を回復した。

**8** 解答：③　1956 年のソ連共産党第 20 回大会で，**フルシチョフ**第一書記がスターリン批判を行った。